

男子バスケットボール部 6月の活動

県予選にむけ、試合を想定した練習をおこなっています。対外練習試合ができないので、はたして本番で実力が発揮できるか不安があります。しかし、状況はどのチームも同じだと思うので、皆で声を掛け合いながら頑張っています。

総体茨城県予選

1回戦 清真学園に辛勝！ 太田一 89^{OT} — 73 清真学園



6月16日、麻生運動場体育館において、1回戦が行われました。

清真学園は県東地区を2位で通過した実力のあるチームです。初めての県予選で、動きに硬さがみられましたが優勢に試合を進めていきました。しかし終盤驚異的な粘りで追い上げられ、同点で延長戦に突入しました。延長戦ではチームが一丸となって戦うことができ、勝利を収めました。

2回戦 下妻二に及ばず！ 太田一 61 — 99 下妻二

6月17日、石下総合体育館において、2回戦が行われました。

下妻二は県ベスト8のシード校で、自分たちの力が試されるチームです。前日の疲れもある中、選手たちは必死に戦い、前半を35—43で折り返すことができました。後半は徐々に相手が実力を発揮し、大差をつけられてしまいました。しかし最後までチームとして全力で戦うことができました。また、1年生も全員試合に出場し、県予選の、ベスト8の厳しさを肌で感じることができました。



試合を通じて感じたのは、やはり3年生の存在の大きさです。総体予選は敗退するとほとんどの3年生が引退となるため、試合に対する気持ちが強くなります。清真学園はお互いの声掛けやルーズボールへの執念、下妻二は体力・技術のレベルの高さや怪我をしている仲間に対してチーム一丸でサポートする姿勢など、多くの点で3年生の存在感、わがチームが見習いたい点がたくさんありました。県予選は2試合で終わってしまいましたが、今後に向けての貴重な経験をさせてくれた両チームに感謝します。

選手・スタッフの皆さん、ありがとうございました。



3年生マネージャーは引退です
今までありがとう！